

ボランティアをしたい人と
募集している人をつなぐ

みんなのボランティア情報誌

月刊

ボランティア

2010年

4 No.140
月号

無料

ご自由にお持ち帰りください



OB・OGさん

NPOな人

訪問型フリースクール漂流教室 相馬契太さん
泣いた！笑った！ベリーズの人々と…

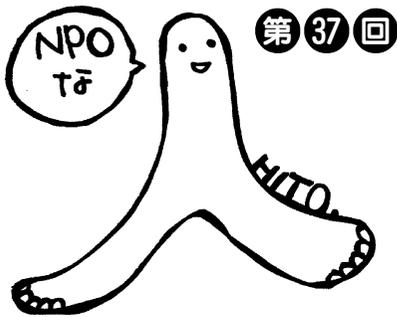
今月の表紙イラスト

プロとしてご活躍で江別市在住
のスタナオ子さんにご提供いた
だきました。

<http://nacart.main.jp>

表紙のイラスト
募集中

北海道のNPO法人認証数
1,582法人
(2010年1月末現在)



.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO ぽ人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....



著 者 訪問型フリースクール漂流教室
相馬 契太 (そうま けいた)

1971 年札幌生まれ、『あしたのジョー』育ち。酒と麻雀とプロレスと打楽器が好きです。漂流教室を始めて 8 年。これまで何とかなったから、これからも何とかできるでしょう。

おおかた成り行き

27 歳の年に無職になった。しばらくブラブラしてたが金が尽き、教材会社でアルバイトを始めた。教材を買った家へ家庭教師として勉強を教えに行く。そこで学校に行っていない子に会った。学校なんてあんな楽しいところはない。行かないなんてもったいない。どれだけ諭しても聞かない。だったらこっちの考え方に問題があるんだろう。それでいろいろ調べたのが初めて、それまでは「不登校」という言葉も知らなかった。

その後、「フリースクール」なるものがあることを知った。折よくボランティアを募集してるところがあって入ったのはいいが、来てる子の数が少ない。不登校の児童生徒は全国で 10 万人を超えると聞いた。じゃあ来てない子は何をしてるのか。酒を飲んで語ってるうち勢いづいて、気づいたら新しい団体を立ち上げることになっていた。大事なことは酒とともに決まる。そのとき一緒に飲んでたのが、いま代表をしている山田で、当時は三重で塾講師をしていた。

それから理念を固めるのに一年かけた。改めて教育を見直すと、子どもも親も教師もみな大変で、あげく解決もその三者でせよと言う。大変さの減らないゆえんで、だから三者の間に立った関係調整を活動の中心に据えた。漂流教室の活動は現在、家庭支援や学校支援も視野に入れたものへ変わりつつある。その下地はここでできていたのだが、もちろん当時は気づかない。訪問型にしたのは単に場所を構える金がなかったから。団体名はこちらから出かけていくとした瞬間に決定。楳図 (うめず) かずおさん※と小学館に名称使用許可を請う手紙を書いたのが最初の仕事となった。結局、おおかた成り行きで決まった。

2002 年 6 月に活動開始。しばらく訪問専門で過ごし、2006 年にフリースペース「漂着教室」を開設。訪問と居場所の二本立てとした。訪問は主に家から出づらい子や低年齢層に、フリースペースは学校代わりに来る場所、外出訓練の場所として利用されている。現在、両方あわせて 50 人弱の利用がある。

※ 代表作に『漂流教室』『まことちゃん』などがある漫画家。



寝てる方が私。毎週発行の通信に載せた水木しげるの模写から

子どもは必ず大人になる

しかし初めての訪問は大失敗だった。漂流教室の特徴は関係そのものに注目することにある。活動の中心であるメンタルフレンドは、一週間に一回一時間を一対一で過ごす（一が五つも並ぶ）。ただでさえ子どもを巡る日常はせわしない。ゆっくりお互いを知り、ゆっくり自分の気持ちを確かめる。そう何度も確認したのに、会話が続かないことに焦り、きっかけをつくろうと無遠慮にその子の持ち物を触って怒りがあった。「もう来ないで欲しいそうです」——そう電話口で言われた。情けなかった。

理屈は本でも学べる。だが実践が足りない。それで特訓をした。一人で飲みに行き、隣に座った人に話しかける。打ち解けやすい話題は何か、どう聞けば相手が話しやすいか、ひたすら試した。また、ほかの人をよく観察した。人を緊張させない表情、口調、物腰を洗い出し、真似した。余裕をもって子どもに向きあえるよう、日々研究した。

そしてそこそこ自信がついたころ、また大きな失敗をした。訪問してたくさん話を聞いて、うまくいったつもりが、夜になって怒りのメールが来た。子どもは何を話しても話さなくてもいい。「話す自由」があれば「話さない自由」もある。聞く側は常にそのことを意識してなくてはならない。それが、なまじ自信を持ったばかりに、うまく聞くことだけに集中し、制御を忘れた。話したくないことまで引っ張り出して気づかなかった。

どちらの失敗も、子どもより自分の都合を優先したことから起きた。最初は焦りから不用意に相手に踏み込み、次は話を聞くことばかり考えて子どもの意志を無視した。自分と他人をしつかり分けることが相手を尊重するには必要だと痛感した。幸いどちらも他の機関と繋がりがあり、失敗後のフォローをしてもらった。連携の大事さも身にしみて知った。

子どもは必ず大人になる。ただし、かかる時間は人によって違う。だから漂流教室の利用には年限がない。さほど苦労せず大人になる子もいれば、あちこちつまずきながら進む子もいる。つまずいて、自力で立ち上がることもあれば、他人の手助けが欲しいときもある。そのとき近くに誰かいれば楽だろう。成長する力はそれぞれが持っている。あとは個々に、必要な時間と話し相手を保証する。漂流教室の役割はその辺りにあると思っている。

大人だっていろいろ迷う。ましてや子どもをや。迷う時間も選べる手助けも、もっとたくさんあっていい。

立ち上げまでの話が長く、フリースペースについて詳しく触れられなかったが、これはこれで、訪問とは別の楽しさと悩みがある。そのほか、今後の活動や、「フリースクール＝不登校」ではないことなど、書きたいことはたくさんあるが、残念、紙幅が尽きた。これ以上は、設立時より毎日更新しているブログでご覧いただきたい。

(漂流日誌→<http://d.hatena.ne.jp/hyouryu/>)



子どもたちとのキャンプ

ボランティア募集中

- 1) 不登校の子の家を訪問して、話し相手や遊び相手になってくれる人
 - 2) フリースペース「漂着教室」で子どもの相手をしてくれる人
- どちらも年齢は20代まで。訪問は継続性が求められるので、最低1年間は活動できる方をお願いします。事前研修有り。月例のミーティング有り。

■ 訪問型フリースクール漂流教室 ■■■

Eメール hyouryu@utopia.ocn.ne.jp

TEL・FAX : 050-3544-6448

〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目「アウ・クル」304 A

ホームページ <http://members.at.infoseek.co.jp/hyouryu/>



施設や人が多く集まる場所に出張し、芸を披露してくれる方をご紹介します。

芸を依頼したい方は、日時や謝礼、交通費などに関し掲載先に直接ご相談ください。

また、掲載を希望する芸をお持ちの方はぜひボラナビにご連絡ください。

ホームページでは、32組を紹介しています(2010年3月現在)。

出張芸ボランティア

検索

教文 13 丁目笑劇一座 短編喜劇、漫才、歌、ダンスなど



団体紹介

北海道発の新たな「笑いの文化」創造を目的に、札幌市教育文化会館が市民に公募し結成した「市民喜劇団」です。小学生から70代の幅広いメンバーで活動しており、年2回の「教文13丁目笑劇場」本公演を中心に、施設や各所ステージに出演させていただいています。演目は、5、6人による15分程度の短編喜劇や、漫才・歌・ダンスなどで、あわせて30分～1時間が基本です。2008年からの活動で芸歴が浅く、なかなか大爆笑とはなりません、一生懸命演じて、温かい笑いの舞台をお届けしています。

- 連絡先／財団法人札幌市教育文化会館〈担当：山下・朝野〉 Eメール yamashita@kyobun.org
TEL：011-271-5822 FAX：011-271-1916 ホームページ <http://www.kyobun.org/>
- 出張地域／道内
- 出張日時／ホール規模での公演は土日祝を希望。1～3月、6～9月は本公演の練習のため、基本にお断りしています。
- 謝礼について／交通費や食事代をお願いします(応相談)。

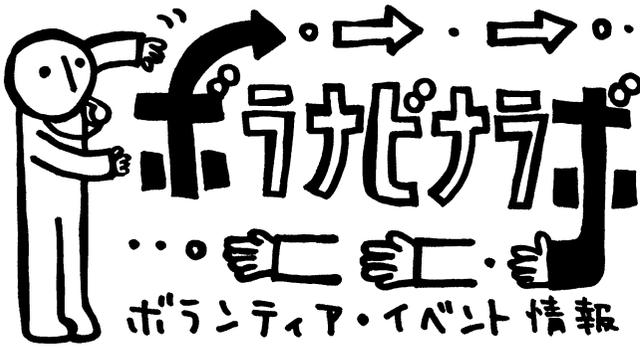
梅田健三さん マジック



自己紹介

明治43年生まれの101歳のマジシャンです。マジックを始めたのは80歳の頃。交通事故で骨折し、入院した大変な年でした。退院後、たまたま立ち寄った本屋でマジックの本を手にし、その本を見ながら独学で練習したのがきっかけです。師匠などはおりませんが、本を読んだだけで、できるようになりました。マジックの道具は自分で作っていますから、プロが持っていないようなものもあります。大道芸のパフォーマンスカーニバル「だい・どん・でん!」に出たり、老人ホームで芸を披露したりしています。2000年に地元テレビ局の番組で、一発芸のグランドチャンピオンになりました。現役時代は2級建築士と土地家屋調査士の資格をいかして仕事をしておりました。秋田県出身です。

- 連絡先／TEL：011-791-1375
- 出張地域／どこでも
- 出張日時／いつでも
- 謝礼などについて／無料です。マジックの道具を持ち込みます。高齢のため車で送迎をお願いします。



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

- ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>
- ※インターネット環境が無い方は、FAXや郵便でお送りください。

締切は毎月25日。次回は4月25日締切→6月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

随時 食品の配送ボランティア募集

私たちは、スーパーや食品メーカーなどで、やむを得ず捨てられてしまう賞味期限内の食料品を無償で引き取り、札幌市内の様々な施設や団体に無償で配布するという活動をしています。地道に活動を続けてきましたが、引き取る量も配布する場所も増えてきたため、ご自身の車（車種や大きさは問いません）で配送していただけるボランティアの方を募集します。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

- 日時/毎週木・土曜日 10:30~14:00 ぐらい。ご都合のつく日だけでかまいません。

- 場所/札幌市内

- お問合せ/フードバンク北海道〈担当：紺野〉

Eメール fb.sapporo@gmail.com

携帯：080-3695-4138

札幌市西区八軒2条東4丁目1-30 パーティーハウスB1階

随時 アクリル100%の毛糸を集めています

社会福祉法人柏の里めむろが運営する障がい福祉サービス事業所オークルでは、障がい者が作った製品を販売しています。アクリルタワシを作るのに毛糸が不足しているため、ご家庭で眠っているアクリル100%の毛糸がありましたら譲っていただけませんか。どうぞよろしく願いいたします。

- お問合せ/障がい福祉サービス事業所オークル〈担当：勝俣〉

〒082-0003 河西郡芽室町西士狩北4線48-2

TEL：0155-62-5449 FAX：0155-62-7449

ホームページ <http://www.ocn.ne.jp/~athome/>

子どもと自然の中で遊びませんか？

自然体験や人との触れ合いを通じた教育を実践するために設立されたNPO法人です。

子ども自然学校「おたる・さっぽろアウトドアスクール」の活動に携わるボランティア（アシスタント）スタッフを募集します。

- 日時/2010年4月~2011年3月の土・日・祝日・長期休暇。
- 場所/札幌市内のほか、小樽や後志の自然中心に活動します。
- 説明会/4月4日(日) 13:00~14:00 札幌エルプラザ2階 環境研修室1 (JR札幌駅北口直結)

参加の場合、電話で事前に連絡をお願いします。

- 対象/大学生や専門学校生を含む18歳以上(50歳くらいまで)で継続して参加できる人。
- その他/謝礼として一日3,500円、交通費実費をお支払します。実習期間があります。

NPO法人自然教育促進会 Eメール outdoor@sokusinkai.com

TEL：0134-51-5666 FAX：0134-51-5667

小樽市望洋台2-14-1 ホームページ <http://www.sokusinkai.com>

正職員募集

ハンディのあるおさんの

サポートをする訪問介護事業所です。

- 仕事内容/食事・入浴・外出時のケア全般
- サービス地域/主に札幌市南区・豊平区。
- 資格/ヘルパー2級以上、車輛持込できる方。
- 応募方法/電話連絡の上、履歴書を郵送してください。後日、面接日時などを連絡します。
- その他/試用期間(2ヶ月)は時給1000円。

詳細は電話でお尋ねください。

株式会社サポート枝〈担当：大山〉

TEL：011-592-3440 FAX：011-592-3441

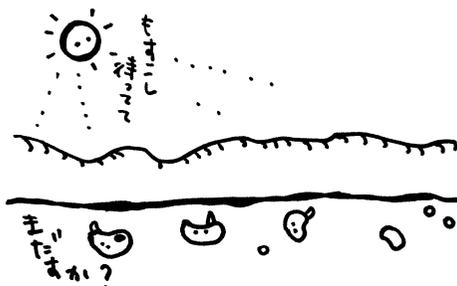
札幌市南区真駒内332-519

随時

勤務中のトイレを手伝ってくださる方募集

私は、脳性まひという障がいがある 25 歳の女性です。障害者自立支援法では、通勤時の送迎と勤務中のケア(トイレ・食事介助など)が認められていません。有料のケアサービスを利用すると給料分に相当してしまいます。職場に迷惑をかけず、働きたいと思っています。女性で、トイレのお手伝いをしてくださる方はいませんか。お子さんが一緒でもかまいません。言葉に障がいはありませんので、手伝ってほしい内容は随時お伝えします。電話では緊張して、思うように伝えられないこともありますので、問い合わせは FAX またはメールをお願いします。

- 日時/週 4~5 回 10:30~11:00 のうち、月 1 回でも、週 1 回でもかまいません。毎月、曜日は異なります。
- 場所/札幌市中央区北 8 条西 23 丁目 2-22 イパール 823-2 階札幌肢体不自由児者父母の会
- 交通機関/地下鉄東西線「二十四軒駅」〈6 番出口〉より徒歩 10 分
- お問合せ/山内 Eメール mika-mika913@beige.plala.or.jp TEL・FAX:011-747-5761



随時

カフェボランティアしませんか

札幌 YWCA は地域交流を目的としたカフェ「Y's Cafe (ワイズカフェ)」をボランティアによって運営しております。収益金は YWCA の青年活動や福祉活動に活用しています。安全な食材を用いて手作りのカレーやケーキを提供するほか、フェアトレード商品も扱っています。現在、ウェイトレスや調理補助、皿洗いなどの手伝い、週 1 回ケーキを焼いてくださる方を募集しています。ブランクがあるので社会にでる前に準備をしたい方、留学生や大学生、定年退職しボランティア体験をしてみたい方、カフェの仕事を体験してみたい方、主婦の経験を活かしたい方など、ぜひご応募ください。

- 日時/月~金曜日 11:30~18:30 (土曜日は 17:30 まで)。この間で、2~3 時間お願いします。
- 場所/Y's Cafe (札幌市北区北 7 西 6 北海道クリスチャンセンター内)
- お問合せ・連絡先/札幌 YWCA 〈担当:成田〉 Eメール sapporo@ywca.or.jp TEL・FAX:011-728-8090
ブログ <http://yscafesapporo.jugem.jp/>

青年海外協力隊
(20~39歳)

日時
4月 6日(火) 18:30~20:30
4月10日(土) 15:00~17:00
4月19日(月) 18:30~20:30

シニア海外ボランティア
(40~69歳)

日時
4月 7日(水) 18:30~20:30
4月10日(土) 10:30~12:30
4月20日(火) 18:30~20:30

会場 **アスティ45ビル**
4階 アスティホール

◎札幌市中央区北4条西5丁目
◎JR札幌駅南口より徒歩5分

独立行政法人 **JICA**
国際協力機構
札幌国際センター(JICA札幌)

〒003-0026
北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25
<http://www.jica.go.jp/sapporo/index.html>

資料請求・個別相談随時受付中
道内各地でも開催! 詳しくはHPで!

TEL 011-866-8393
FAX 011-866-8382 E-mail sictpp@jica.go.jp
担当/田中・大橋・仲沢

5/15
締

チャイルドラインさっぽろ受け手研修受講者募集

チャイルドラインは子どもがかける子ども専用電話です。いじめ、虐待、不登校、非行などが深刻化する中で、子どもたちは自分の気持ちを聴いてくれる所を求めています。子どもの気持ちに寄り添いたい、子どものホッと居場所でありたいという思いで、チャイルドラインは活動しています。この度、「受け手」ボランティアになるための研修受講者を募集します。講義・グループワーク・ロールプレイからなる研修を5ヶ月間受けた後、半年間のインターンを経て、受け手に認定されます。詳細はホームページをご覧ください。申込用紙をダウンロードできます。また、受け手以外のお手伝いをしていただく一般ボランティアも随時募集しています。

- 研修日時／2010年7月6日(火)～11月16日(火)。原則として第1・3・5火曜日の18:30～21:00の計11回(その後6ヶ月余12回のインターン研修)
- 場所／札幌市中央区北3条西3丁目ほか
- 費用／前期養成研修(11回)10,000円・後期インターン研修(12回)10,000円。学生半額。＊中途辞退者に払い戻しはありません。
- その他／満18歳以上の方をお願いします。申込用紙(指定用紙・写真貼付)と手数料1,000円の振込み領収書コピーを5月15日必着でお送りください。5月31日を目途に面接の日程をご案内いたします。選考は書類と面接によって行います。選考に関わる電話での問い合わせはご遠慮ください。
- お問合せ／NPO法人チャイルドラインさっぽろ
TEL・FAX:011-272-3755 電話での請求受付は月・水曜日の12:00～16:00
〒060-8691 札幌中央郵便局私書箱13号
ホームページ <http://www8.plala.or.jp/cl-sapporo/>

第2・4
土曜

パン作りのボランティア募集中!!

知的障がい者の通所施設です。自立を目指すには、働くところ、余暇を楽しむところ、そしてそれぞれの場所において、彼らを支える人たちの輪が必要です。私たちは、彼らの心豊かな生活を目指し、いずれはパンを商品にしていきたいと練習しています。利用者と一緒に楽しんでパン作りをしていただける方をお待ちしております。

- 日時／第2・4土曜日 10:00～15:00
- 場所／札幌市豊平区豊平1条13丁目1-12
- 交通機関／地下鉄東豊線「豊平公園駅」より徒歩13分
- その他／昼食を提供します。
- お問合せ／NPO法人ステップバイステップ「ちゃちゃべりー豊平」〈担当：荻原〉
TEL:011-776-7776 FAX:011-711-8789 ホームページ <http://www.k5.dion.ne.jp/~s-by-s/>

在宅生活のお手伝いを致します。

札幌市内にお住まいの高齢者の方を対象に、介護保険では使えないサービスを提供しております。

家事・外出・留守番・お手伝いなど
料金/1時間に付き700円+交通費500円

～ボランティア活動支援事業～
NPO法人日本理美容福祉協会札幌センター
生活支援部 電話 011-577-2740



水・木

お年寄りの趣味活動のお手伝い

厚別老人保健施設デイ・グリーンでは、お年寄りのみなさんが楽しみにしている活動をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。特にお願いしたいのは音楽療法士をサポートするボランティアで、一緒に歌ったり、歌詞カードを配ったりしていただきます。その他にもさまざまな活動がありますので気軽にお問い合わせください。専任のコーディネーターが対応いたします。

- 日時／音楽療法士のサポートは水曜日 14:00～15:30、木曜日 14:00～15:00。そのほかの活動についてはお問い合わせください。
- 場所／デイ・グリーン (札幌市厚別区厚別町下野幌 38-18)
- 交通機関／JR 地下鉄東西線「新札幌駅」よりもみじ台団地線〈白 28〉で「もみじ台北 3」停留所下車 5 分
- 連絡先／厚別老人保健施設デイ・グリーン〈担当: 植松〉 TEL: 011-898-5580 FAX: 011-898-6760

随時

発達障がいの子とも遊ぶボランティア

自閉症など発達障がいがある幼児と、マンツーマンで遊びながら支援するボランティアです。毎週 1 回、決まった曜日に通ってくださる方を募集します。見学可能です。ぜひお電話ください。

- 日時／①月曜 9:30～12:00、②火曜 13:00～15:30、③水曜 9:30～12:00、④木曜 9:30～12:00、⑤木曜 13:00～15:30、⑥金曜 9:30～12:00。各活動時間の後にミーティングあり。
- 場所／北海道クリスチャンセンター (札幌市北区北 7 条西 6 丁目) ●その他／交通費実費支給。
- お問合せ／北海道クリスチャンセンター家庭福祉相談室 TEL: 011-746-6374
ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~soudann/>

日

バスケットボールクラブのメンバー募集

スポーツによる健全な交流活動を目的に、聴覚や知的に障がいのある方たちと一般の方たちが、共にバスケットボールを楽しむ運動系の社会奉仕団体です。障がいのある方の参加がまだ少ないので、関心のある方はぜひお問い合わせください。バスケットがあまり得意ではなくても、みんなでカバーし合い、楽しく活動しましょう。メンバーには、体育の教師を目指す方、守りやパスのチームプレイができるようになった方、障がいのレベルが改善された方などがいます。

- 日時／ほぼ日曜日に月 2～5 回。時間帯は 10:00～13:00、13:00～16:00 のいずれか。
- 場所／ポプラ若者活動センター (札幌市白石区平和通 1 丁目南 2-1)
- その他／入会金 500 円、月会費 500 円
- お問合せ／札幌ボランティアコミュニティバスケットクラブ〈担当: 来嶋〉 Eメール kururico@auone.jp
ホームページ <http://blog.auone.jp/sbcbc/>

登録ヘルパー募集

**興味のある方
ぜひお気軽にご応募ください♪**

急募

- 資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上
夜間は年齢不問
運転免許必須 南区在住の方(周辺の方も応相談)
- 勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可
- 給与／時給930円(交通費400円。深夜手当などの諸手当有り)
- 勤務場所／南区とその周辺
- 応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、下記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ ヘルパーステーションせせらぎ
〒005-0804 札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号
TEL: (011)572-7810 FAX: (011)572-7840

登録無料 欲しい情報がお手元に

ボラナビ アラート

活動したい地域・分野・時間帯で
選んで登録。ご希望にあった最新の
ボランティア・イベント情報をお届け!
携帯からも簡単登録→



<http://npohokkaido.jp/volunavi/modules/vsearch/index.php?controller=user>

第1・3
土

ジュニア琴合奏団 団員募集

私たちは文部科学省委託事業で5年間、延べ100人の子どもたちに「琴」を伝え、邦楽の普及に努めてきました。その中から委託事業を終えても琴を続けたいという子どもたちが現れ、現在15人で日々研鑽を積んでおります。「さくら」、「通リゃんせ」、「六段の調べ」、「千の風になって」、「世界に一つだけの花」などを練習します。参加してみませんか。小学3年生から中学3年生までの男女が対象です。初心者歓迎します。

- 日時／毎月第1・3土曜日 10:00～12:00。レッスンは4月3日(土)～。
- 場所／札幌市中央区北1条西10丁目ダイアパレス北1条305号
- 交通機関／地下鉄東西線「西11丁目駅」より徒歩3分
- その他／参加費1回500円(教材費、楽器使用料など)
- お問合せ／NPO法人邦楽研究会〈担当：灘本〉
携帯：090-9753-8964
ホームページ <http://ayanokai.main.jp/ayanokai-web/>

随時 ボランティアリーダー募集

北海道YMCAでは、子どもと触れ合う活動に興味がある高校生以上のボランティアリーダーを募集しています。活動は、野外活動、キャンプ、アフタースクール、水泳の他、発達障がい児を支援するなど、多方面にわたります。ボランティアは、自分自身の意思で、仲間とともに様々な経験を通して成長できます。年間を通して100人以上の方が活動しています。子どもたちの生活面・精神面でのサポートはもちろん、活動の企画・運営も手がけます。子どもたちから元気をもらうことができ、やりがいもあります！説明会は随時行っていますのでお気軽にご参加ください。

- 期間／1年間を通じての活動または夏・冬休みを中心とした活動※ご自身のご都合に合わせて活動できます
- 場所／YMCA(札幌市中央区南11条西11丁目)及び札幌市内
- 交通機関／じょうてつバス 南4・南54・南55番「南11条西11丁目」バス停下車 向かい
- お問合せ／財団法人北海道YMCAボランティアセンター〈担当：佐藤〉
Eメール volunteercenter@hokkaido-ymca.or.jp
TEL: 011-561-5217 FAX: 011-563-0041
ホームページ <http://www.hokkaido-ymca.or.jp>

随時 介護施設の趣味活動をお手伝いするボランティア募集

私は介護施設を回って、墨彩画(墨と絵の具を使って描いた絵)と、ぬりえ、絵手紙を合わせて、カレンダーやカード作りの趣味活動を教えています。私が描いた下絵に、見本を見ながらお年寄りに色を塗ってもらいます。月に2～3回開催する施設もあり、全施設で300人が楽しみに待っていてくれます。私一人では、大勢の利用者さんに教えるのは大変なので、資料の配布や対応のお手伝いをしてくれるボランティアを募集しています。初めての方のために月2回、教材費のみの研修会を行っていますので、そこで墨彩画を学んでボランティアをしてみませんか。絵が好きな方、興味のある方からのご連絡をお待ちしております。

- お問合せ／浅井 TEL・FAX: 011-881-9316



随時 防犯防災ボランティア募集

自分たちの住んでいる街で今までより少しでも安心・安全に暮らせればと思い、防犯防災ボランティア活動を立ち上げました。現在は学童の見守りが主ですが、これから徐々にいろいろな活動をしていきたいと考えております。活動地域は、協力していただける方が住んでいる地域（町内会など）が中心になります。また、応急手当の普通救命Ⅰ又はⅡの資格を取っていませんか？当グループに応急手当普及員がいますので、私たちの活動に参加・協力していただける方で希望される方には、関係機関と同じ講習を実施し、資格者証の発行申請をしてさしあげられます。講習は無料（遠隔地の場合は講師の交通費要）で、Ⅰは3時間、Ⅱは4時間、その後1時間のテストを実施します。その他、防災危機管理者もいますので、町内会に無料で講話などを行うこともできます。ご関心のある方はご連絡ください。

●お問合せ／R&S <担当：阿部> 携帯：080-1977-9190

随時 年賀状などの書き損じハガキを集めています

私たちは、知的障がいのある人とその家族、支援者による会で、全国組織「全日本手をつなぐ育成会」に加入しています。皆様の机の引き出しなどに、書き損じハガキは眠っていませんか。私たちは活動の中で毎年何百枚もハガキを使うため、書き損じのままでも結構ですので譲っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

●お問合せ／白老町手をつなぐ育成会 <担当：佐藤> TEL：0144-83-3537
〒059-0922 白老郡白老町字菟野 310-110

土・日 外出や食事介助のボランティアさん募集

私は車いすを利用している男性です。外出先での買い物や食事、映画鑑賞などの付き添いをしていただける方を募集します。交通費や昼食・コーヒー・映画のチケットにかかる費用はこちらで負担します。お気軽にお電話ください。

- 日時／外出先での買い物の付き添いなどは土・日曜日 10：00～15：00、映画鑑賞は、日曜日 9：00～16：00。 ●場所／札幌市東区北17条東18丁目
- 交通機関／地下鉄東豊線「元町駅」<1番出口>より徒歩10分
- お問合せ／志鎌（しかま） TEL・FAX：011-784-5250 携帯：070-5600-8875



NPO 法人 NEXTDAY

【内容】

市民向けパソコン講座の企画・運営

【要件】

- 情報技術と活用についての基本的な知識を有する方
- コミュニケーション力や教える力を特に重視します

【時間】

主に 10:00-16:00 の間で 4 時間程度（講座運営日 随時）

【謝金】

1 講座につき 3,000 円～4,000 円（交通費 当法人規定）

【お問い合わせ・応募】

NPO 法人 NEXTDAY <http://www.nextday.jp>

以下電子メールにて 4 月 15 日まで

ishida@nextday.jp



講師募集



「元気の芽」応援します。

詳しくは  または

北海道新聞社

土・日

介護施設に音楽をお届けするメンバー募集

音楽療法の研究をしている「音楽の贈り物」は、札幌市内の介護施設に音楽をお届けするボランティアコーディネート団体です。2006年から活動し、平成21年度北海道福祉のまちづくり賞を受賞しました。音楽創作とまちづくりの奉仕活動に興味があり、歌手やコーラスとして活動したり、オルガン、木管、金管、ボンゴ、コンガ、パーカッションなどの演奏をしたり、音響、照明、撮影、会場準備などのお手伝いをしてくださる方を募集します（初心者可）。自家用車で来館できる方をお願いします。見学可能です。

- 日時／土曜日（パーカッション）・日曜日（全種） 13:30～17:00
- 場所／札幌市北区と東区の福祉施設
- その他／会費として年額3,600円（ボランティア保険代、資料代）をご負担ください。
- お問合せ／音楽の贈り物〈担当：佐藤〉 Eメール musicpresent@softbank.ne.jp 携帯：090-3399-2482

随時

YOSAKOIソーラン祭り学生実行委員会新メンバー募集!!

YOSAKOIソーラン祭りのメインステージである大通公園西8丁目ステージは、資金集めからステージデザイン・企画立案・テレビ局との打ち合わせ・運営など、学生だけの力で創られています。来年に向け、今、新メンバーを募集しています！YOSAKOIソーラン祭りだけではなく、道外のお祭り運営、富良野自然塾での植樹など活動は多岐にわたります！札幌近郊に住む熱意のある大学生・専門学生・短大生で、アナウンサー志望の人や、舞台演出、裏方、テレビ作り、企画作り、モノづくりに興味のある人、地域・街・学生・子どもに密着して何か企画したい人、全国に友達を作りたい人、夢や野望を持っている人はぜひご応募ください。当日ボランティアには、札幌市外や道外の方からのご応募もお待ちしております。

- 日時／毎週水曜日 19:00～全体会議をしています。
- 場所／YOSAKOIソーラン祭り学生実行委員会事務所（札幌市北区北18条西3丁目 18条ターミナルビル4階）
- 交通機関／地下鉄南北線「北18条駅」より徒歩3分。事前に連絡をいただければ担当者が迎えに行きます。
- お問合せ／YOSAKOIソーラン祭り学生実行委員会〈担当：渡辺〉
Eメール soragakusei@gmail.com TEL・FAX：011-746-4351



ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

▼「ボラナビで見たけど、すぐには連絡できなかった。気になるので捨てられず、やっと電話した」という人も多い。

▼来ていただいた学生ボランティアさんと、**楽しく議論**をぶつけあっています。

▼掲載する文章をとて**わかりやすくまとめた**いただき、ありがとうございます。

▼ボラナビに載せると、**他で募集するよりも効果がある。**

▼**多い時で20人くらい**、今回は5、6人の問い合わせをいただいた。

4/3(土) ▶アザラシ生態調査ボランティア説明会&お話し会
▶13:00~道立市民活動促進センター(札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館西棟1階)

近年、日本海側ではアザラシが年々増加して漁業被害が深刻化していると報道されているようですが、本当にアザラシが増加しているのか、そしてアザラシによって水産資源が減少しているのか、疑問に感じています。アザラシの生態に関して真実を後世に伝えたいという思いで、2003年から焼尻でアザラシの生態調査を行い、仲間を常時募集しています。このたび札幌で説明会を開催しますので、参加を希望される方はご連絡ください。また、5月3日(祝・月)に焼尻島に1泊してアザラシの調査をするボランティアもあわせて募集しています。気軽にお問い合わせください。



☎ 焼尻ごまちゃんクラブ <河野> Eメール gomafu-hungskangee72@ezweb.ne.jp

4/3・4(土・日) ▶MAWJチャリティコンサート
▶3日18:30~cafe stage 海音(かのん)(小樽市築港8-4)、
4日14:00~cube garden(札幌市中央区北2東3)

私たちは、難病の子どもたちの夢をかなえる活動をしています。活動資金を集めるためのコンサートを開催しますので、ぜひいらしてください。出演は「indigo blue」「ときどき通信」。チケットは前売り一般2,000円、小・中学生1,000円。ご希望の方は事務局にご連絡ください。道新プレイガイドでも取り扱っています。☎ 財団法人メイク・ア・ウイッシュ オブ ジャパン <杉山> Eメール sapporo@mawj.org TEL・FAX: 011-219-7111 携帯: 080-5181-4111
ホームページ <http://www.mawj.org/>

4/14 他 ▶西区福祉バザーのご案内
▶4/14(水)~16(金) 9:30~16:30 西区民センター(札幌市西区琴似2-7)
5/12(水)~14(金) 9:30~16:30 手稲区役所(札幌市手稲区前田1-11-1-10)

知的・身体・精神の障がいがある方が作った製品を西区民センターや手稲区役所で販売します。西区にある作業所7、8ヶ所が店出します。ぜひいらしてください。☎ NPO 法人ふれあい・めだか共同作業所 <担当: 近藤>
TEL・FAX: 011-667-4306

5/10 締 ▶あそび場「共遊」スタッフ養成講座
▶5/16(日)~2011/3/13(日) 全9回 10:00~17:00(講座によって時間の変更あり)

遊びのコツと企画のノウハウを理論・実技・実習を通して学び、「さまざまな遊びのメニューを知っていて、勤務先や地域あるいはイベントなどで遊びを楽しく提供できる人材の育成」を目指します。お申し込みはメールかファックスで、氏名(フリガナ)・住所・電話番号・生年月日・メールアドレスをご連絡ください。定員30人。高校生以上青年まで対象。参加費各回一般2,000円、学生1,500円。別途、教材費2,100円、保険料1,600円(年間)※全過程修了者はレクリエーション・インストラクターの資格取得可能。☎ NPO 法人こども共育サポートセンター <長江>
Eメール kyouiku_info@kodomokyoiuku.org FAX: 011-398-3151

5/10 締 ▶レクリエーションスクール
▶5/13(木)~11/11(木) 18:30~20:45 全25回
社会福祉総合センター(札幌市中央区大通西19) 地下鉄東西線「西18丁目駅」徒歩3分

レクリエーションの理論から実技までを学ぶ、介護職必須の教養です。社会貢献のスキルや、日々楽しい生活を送るためのヒントにもつながることでしょ。受講料20,000円、テキスト代2,000円程度。☎ 札幌レクリエーション協会 <伊藤> TEL・FAX: 011-666-0336 ホームページ <http://blog.canpan.info/satsurec/>

5/14 締 ▶レク支援者のためのスキルアップ研修
▶5/16(日) 13:30~17:00(受付13:00~) 札幌市エルプラザ4階中研修室(札幌市北区北8西3)。

介護現場におけるレクリエーション支援者を対象に、不用品や安価な材料を活用し、利用者の「余暇支援」と「残存機能の活用」を目指すレクをグループワークで学びます。はさみ、セロテープ、カッター、朝刊1部、トイレットペーパー芯1本、ペットボトルのキャップ4個をお持ちの上、動きやすい服装でいらしてください。定員30人。参加費2,000円は当日会場でお支払いください。お申し込みはFAXで。講習会后、希望者のみで「参加者情報交換会」を実施(別途2,000円)。☎ ケアレクリエーション倶楽部 <南部> FAX: 011-665-1399

随時 ▶北海道地域公益ポータルサイト「どさんこ」開設!

北海道 NPO サポートセンターでは、日本財団 CANPAN の運営協力を得て、北海道内で公益活動を行っている団体の情報を広く全国へ提供する「北海道地域公益ポータルサイトどさんこ」を2010年2月に開設しました(<http://dosanko.canpan.info/>)。北海道内で現在活動中の NPO・NGO・市民活動団体・ボランティア団体の方、ぜひ「どさんこ」へ団体情報を登録しませんか? ☎ NPO 法人北海道 NPO サポートセンター <笹崎>
Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp TEL: 011-204-6523 FAX: 011-261-6524

OB・OG 青年海外協力隊

「海外でボランティアをする」—— 夢見たことはあるけれど、実現していない人は多いのではないのでしょうか。もしかしたらあなたが行くかも、あるいは行ったかもしれないその土地の様子を、青年海外協力隊 OB・OG の方々に教えていただきます。

第36回

泣いた! 笑った! ベリーズの人々と…

清水典子(シミズノリコ)さん(32歳)2007年6月~2009年6月、村落開発普及員として、地元の零細企業へのマーケティング指導や、マヤ族の女性グループに現金収入向上のための支援をした。帰国後は看護師を目指し、札幌市立大学看護学部に通う。



特産品の出店 (筆者左)

ベリーズという国を聞いたことがありますか? 中米のメキシコとグアテマラに挟まれ、カリブ海に面した、四国ほどの小さな国です。人口は30万人程度で、黒人、メスチーソ、マヤ族など様々な人種で構成され、クレオール語、スペイン語、マヤ語、ガリフナ語と多くの言語が飛びかっています。旧イギリス領のため、中米では唯一、英語が公用語であり、他の中米諸国とは少し違った雰囲気があるユニークな国です。

私が派遣されたトレド州プンタゴルダ町は、ベリーズ南部に位置し、ベリーズの中でも特に多様な民族が生活しているのんびりとした海辺の町です。私はトレド州開発団体に所属し、マヤ族の女性グループによる民芸品店の運営支援を中心に活動しました。

マヤ族の多くは村に住み、主食のトウモロコシと豆を栽培する自給自足の生活が基本です。電気や水道が無くても家族一緒に仲良く暮らしている人が多い反面、現金収入が極端に少ないため、子どもへの教育や病院にかかる費用などに困ることがよくあります。そこで、各村のマヤの女性たちはグループを組織し、ヤシ科の葉で籠などの民芸品を作り、プンタゴルダ町で共同運営する民芸品店で観光客に販売し、現金を得ようとしています。しかし不便な生活環境のため、子だくさんの彼女たちは家事や育児に時間がかかり、また、村から町へのバスが週に4本しか運行していないため、組織の活動と家庭の両立は簡単ではありません。一つのことを完結するにも大変時間がかかりました。

豆知識

かつて中米一帯で栄華を極めたマヤ文明のなごりで、ベリーズのカラコル遺跡には、現在でも国内で最も高い、高さ43mの神殿が残っている。



ただ、彼女たちは非常に学習熱心です。例えば、文字を読み書きすることができなかった女性が、自身の手で在庫帳簿をつけられるようになりました。彼女たちのあきらめず努力する姿に、私はいつも勇気づけられました。そのおかげで、私は同じ女性として彼女たちとたくさんのお話をしあい、励ましあい、一緒に笑ったり泣いたりしながら活動することができました。

本当に多くの人に出会い、支えられた、ベリーズでの生活。「健康で幸せでありたい」と願うのは世界中の人々の共通の願いです。今後は、医療の分野を学び、これまでとはまた違った形で、様々な人と関わっていきたくと思っています。



マヤ村で女性グループと月例ミーティング

▼応募相談・活動などボランティアに関するお問い合わせは

独立行政法人 国際協力機構 札幌国際センター(JICA 札幌)
〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号 TEL: 011-866-8393 Eメール sictpp@jica.go.jp



誰でも気軽に立ち寄りおしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

Vol.31 さくらんぼの会

場 所	個人宅
日 時	毎月第3火曜日 13:00~15:00
参加費	300円
参加対象	手稲区稲山連合町内会にお住まいの方。参加をご希望の方は、事前にご連絡ください。
主催・連絡先	さくらんぼの会 TEL: 011-681-2400 内線 366 (手稲区社会福祉協議会)



お茶の間について

60~80代の女性たち8人が集まって、お花見会や月見会などの季節の行事を楽しんだり、栄養士や保健士、清掃事務所の方などをお招きしてお話を伺ったりしています。ボランティアによる手作り料理の食事は年3回、また、ピクニックやお風呂に出かけることもあります。始めたきっかけは、発起人の「一人暮らしだった自分の田に何もしてあげられなかった」という想いです。一人または二人暮らしの高齢者が、ひと時のおしゃべりやゲームで日ごろのストレスを忘れてくれればと思ひ、続けています。



参加者の声

- ・耳が悪くて話が聞こえづらいのですが、皆の中に入って話を聞いているのが楽しい。(78歳)
- ・リュウマチを持っていて家事が辛い時もありますが、皆と会って話ができることで日頃の大変さも解消されます。(70歳)
- ・一人暮らしなので、皆さんと会っておしゃべりをしたり、情報交換をするのがとても楽しみです。(73歳)
- ・食べる事が好きなので、いつも美味しい食事が楽しみです。(76歳)



ボラナビカフェも
毎月開催しています。



日 時/2010年4月10日(土)、5月8日(土)
どちらも10:00~11:30
場 所/ボラナビ事務所(中央区北5西6札幌ビル7階)
内 容/テーマを決めずに楽しく話し合う場です。
参加費/300円 定員/10人
参加方法/1週間前までに要予約。TEL: 011-242-2042
volunavi@npohokkaido.jp
月寒あんぱん本舗(株)ほんま様より茶菓子の提供があります。

2月の

事務局の1カ月を
振り返りつつご紹介



- 9(火) ●北海道ボランティア・市民活動センター運営委員会に森田が出席。事業報告と新年度の活動予定について話し合った。●ボラナビに寄付をくださった方にお礼の電話をした。「こういう雑誌があることに感動した」と言っていたが、嬉しかった。
- 10(水) ●自立を目指す障がいのある人たちの「生活」と「活動」の場である施設を見学した。要介護者がサウナに入れるデイサービスを運営していて、通所している人たちもとても楽しそうだった。
- 15(月) ●この事務局日誌のコーナー、実はいつもみんなの書き込みが足りなくて、締切前に慌てている。

- 「3人のスタッフそれぞれが、毎週一つは書き込みをする」目標を村上が提案した。
- 18(木) ●北海道放課後子どもプラン委員会と北海道学校支援地域本部事業運営協議会に森田が出席。●ボラナビ3月号の納品日。3人のボラボラさん(ボラナビ倶楽部のボランティア)が梱包を手伝ってくれた。作業中の話題は、国際交流や海外旅行事情だった。●地域ポータルサイトの説明会に高山が参加した。
- 22(月) ●地域ポイント制度研究会(札幌市)に森田が参加。会議の後、市のみなさんと一緒にお昼を食べながら話を続けられて良かった(自費)。
- 24(水) ●事務所の周辺に、高山がボラナビを配達。手伝ってくれたボラボラさんから、事業についていろいろなアイデアをいただいた。
- 25(木) ●ボラナビで実施を検討していた事業について、行政に相談に行った。活用できる国の予算を紹介していただいた。

月刊ボラナビの配置先 (今月は札幌市外の一部をご紹介)ボラナビは毎月25日に約1,000ヶ所に配置しています。

■室蘭市・伊達市・登別市/Honda Cars 札幌室蘭西店/マックスバリュ(室蘭東店・登別店)/北海道労働金庫(室蘭支店・室蘭東支店)/日産サテオ札幌伊達営業所 ■苫小牧市/JR 苫小牧駅/北海道労働金庫苫小牧支店/中石油油(株)FW 苫小牧/マックスバリュ(澄川町店・花園店・支笏湖通り店・有珠川店) ■倶知安町・長万部町・八雲町/マックスバリュ 倶知安店/スーパー JOY 倶知安店/北海道労働金庫(倶知安支店・八雲支店)/中石油油(FW 長万部・ピットイン長万部) ■当別町・月形町・新篠津村/札幌信用金庫新篠津支店/北海道医療大学/札幌信用金庫(当別支店・月形支店) ■岩見沢市・夕張市・栗山町/JR 岩見沢駅/北海道労働金庫(岩見沢支店・夕張出張所)/札幌日産自動車岩見沢支店/マックスバリュ(岩見沢東店・栗山店)/ドコモショップ(岩見沢店・空知店・栗山店) ■砂川市・深川市/札幌日産自動車空知支店/Honda Cars 札幌砂川店/北海道労働金庫砂川出張所/介護老人保健施設エーデルワイス/安寿ケアセンター/介護老人福祉施設清祥園/グループホーム忘れな草/マックスバリュ 深川店/深川第一病院/新雨竜第一病院 ■函館市/北海道労働金庫函館支店/財団法人北海道国際交流センター(HIF)/マックスバリュ(石川店・堀川店) ■新ひだか町/マックスバリュ 静内店/北海道労働金庫静内支店 ■滝川市・芦別市・士別市・留萌市・名寄市・美唄市/スーパーJOY 芦別店/北海道労働金庫(芦別出張所・滝川支店・留萌支店・名寄支店)/マックスバリュ(士別店・滝川店・留萌店・名寄店)/スーパーJOY(滝川栄町店・滝川西町店・朝日町店)/ドコモショップ美唄店 ■帯広市/北海道労働金庫帯広支店 ■釧路市・中標津町/マックスバリュ(川北店・春採店・文苑店)/北海道労働金庫(釧路支店・中標津支店・赤平出張所) ■旭川市・赤平市/JR 旭川駅/北海道労働金庫旭川支店/中石油油(末広東・大通・緑町・道北本部/マックスバリュ(永山店・宮前通店・赤平店) ■富良野市/北海道労働金庫富良野支店 ■網走市・北見市・紋別市・遠軽町/北海道労働金庫(網走支店・紋別出張所・北見支店・遠軽出張所) ■稚内市/北海道労働金庫稚内支店

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

※配置に協力していただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。

遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様の協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。

カ フ ユ レ ポ

7人が参加し、自身が行っている地域活動や、自分らしい生き方が話題になりました。私が印象に残ったのは、札幌の父子家庭のことを調べようとしたが、情報が無かったという方の発言。離婚率の高い北海道なので意外でした。また、うつ病で社会との接点が無いと悩んでいる20代の女性には、みんなから温かい発言が寄せられました。「子どもを亡くした時、私もうつになった。今では完治し、元気にボランティアもしている。必ず治るよ」、「人の生き方と比べる必要はない。私は結婚や出産に縁がなく生きてきたが、自分なりの幸せを見つけている」。また、ご自身の離婚や自殺未遂などの苦しい体験を乗り越えた方からは、「今は周りの人の役に立つことをしたい」という話があり、元気をもらうことができました。(村上智恵子)



ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (ナニヌ順)

中道リース株式会社様	北海道文化放送様	城宝和茂様
株式会社ニトリ様	森田雄二様	進藤芳彦様
匿名希望者様	遊佐新聞販売株式会社様	NPO 法人チャリティ・プラットホーム様
北雄ラッキー株式会社様	株式会社 HBA 様	株式会社土屋ホーム様
北海道銀行様	株式会社 NTT ドコモ様	寺岡ファシリティーズ株式会社様
北海道新聞社様	札幌信用金庫様	富永マサエ様
有限会社北海道新聞中田専売所様	札幌通運労働組合様	

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000円以上の寄付金や、この欄への10,500円の寄付広告をいただいた際は、誌面でお名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーとほっと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金入りが可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL:011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

■情報掲載料金 (各1号につき)

種類	サイズ (天地×左右)	料金
企業・行政など広告A	50 mm×157 mm	63,000 円
企業・行政など広告B	50 mm× 76 mm	31,500 円
NPO・NGOの情報A	50 mm×157 mm	10,500 円
NPO・NGOの情報B	50 mm× 76 mm	5,250 円
NPO・NGOの情報C	定型	無料
裏表紙	50 mm×157 mm	105,000 円
バナー広告	60 ピクセル×120 ピクセル	52,500 円 (1,400 円/日)

※基本的に前払いでお願いいたします。

※上記の料金は、ご自身で制作された場合のものです。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。(A=6,300円、B=4,200円、バナー広告=6,300円)

※バナー広告の掲載団体・個人は協賛一覧でご紹介させていただきます。

※「NPO・NGOの情報C」は、誌面の都合により掲載できない、又は縮小する場合があります。

■定期購読のご案内

●各号1部(6ヶ月間)……………1,575円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。

●お申し込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

定期購読のお申し込みをされる場合(特に企業でお申し込みの場合)は、寄付または寄付広告をご検討ください。詳細は上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部への お振り込みは

■ゆうちょ銀行(郵便振替)
02700-1-5671

■北洋銀行北7条支店
(普)3662056

■北海道銀行札幌駅北口支店
(普)0816050

■北海道労働金庫道庁支店
(普)3153060

■札幌信用金庫本店
(普)4255071

●口座名:ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、支払い手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

■ボラナビモバイル



QRコード対応携帯のみ

ボラナビ倶楽部の会員になりませんか?

社会を変えたい人

一緒にボラナビを育ててみたい人

市民活動やボランティアに興味がある人

ボラナビに情報・広告を載せたい人

ボラナビ大好きな人

■年額/個人5千円、法人1万円。

■特典/月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる(月1回)。法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できるなど。ぜひお申し込みください。

■お申込み・詳細/ホームページで検索

※会員期間は、今年度(2010年4月~2011年3月)です。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042